



学校だより



青梅市立東小中学校
令和3年度 第9号
12月24日(金)

感謝の心が高まれば高まるほど
それに正比例して幸福度が高まっていく

校長 川窪 公夫

新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威(もうい=勢いがはげしい)を振るった2021年(令和3年)も残りわずかとなりました。第6波に見舞われることなく、終息に向かうことを願います。

さて、11月に入り、緊急事態宣言も解除されていることから、念願の寮で昼食をいただく機会に恵まれました。寮の先生方をはじめ、皆さんが温かく迎えてくれ、とても嬉しく思います。また、皆さんが手際よく準備や片付けに取り組んでいる姿を見ることができ、素晴らしいと感心しました。昼食に出向いた先生方は、「食事も美味しく新しい発見もあり、とても楽しい一時でした。」と話しています。調理室の先生方をはじめ学園の先生方に御礼申し上げます。

12月は、一年間を締めくくる感謝の月と言われます。パナソニックの創業者(そうぎょうしゃ=初めにつくった人)である松下幸之助さんが、「感謝の心が高まれば高まるほど、それに正比例して幸福感が高まっていく。」と語っています。

コロナ禍にあっても困難を乗り越え、授業をはじめとした学校生活に一生懸命に取り組んでくれた子ども達とその頑張りを支えてくださる学園の先生方に心より感謝申し上げます。冬休みは、健康・無事故で過ごし、晴れやかに新年を迎え、決意も新たに3学期の始業式に集いたいと願っています。良い年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。



小学6年生 授業(音楽)



中学3年生 合同音楽

心豊かに = 芸術鑑賞教室で「影絵」を鑑賞しました

11月19日(金)に劇団かかし座を招き、芸術鑑賞教室を行いました。

「手影絵ショー」と「分副茶釜(ぶんぶくちやがま)」の二つの演目(えんもく=出し物)でしたが、アツという間の90分間でした。手影絵ショーでは、プロの劇団員の芸術的な表現に魅了(みりょう=引き込まれる)された後、代表生徒が手影絵に挑戦してくれました。最初は、戸惑いながらも劇団員の指導のもと、どの子も上手に出来ることに驚きました。また、童話で有名な分福茶釜では、おじい



さんと助けられた子ダヌキの交流が影絵の温かさから伝わってきました。影絵を映し出す光の透き通るような美しさは、心が和(なご)む一時でもありました。子ども達も終始、スクリーンに集中し、さすが!プロの劇団員の語りに引き付けられました。きっと、影絵という芸術が子ども達の豊かな心を育んでくれたと確信します。



<子どもの感想は、裏面にあります。>

<子ども達の感想文からの抜粋(ばっすい＝一部を抜き出すこと)>

- 手影絵の中で、きゅうす・湯のみ・鳥は、まちがえているかもしれませんが、うさちゃんを覚えられました。〔小学生〕
- 私は、ショーを見ていて、自分も歌に合わせて体を動かしたいぐらい楽しかった。そして、影でこんなにもものすごく動物や物が作れることを知ってとてもびっくりしました。私はここで教わったことに少しでも興味を持つとうと思いました。〔小学生〕
- 色々な手影絵があつて面白かった。手とは思えないほどの迫力があつた。歌の声もとてもきれいで歌手をしているのかなと思つたくらいすごかつた。〔中学1年生〕
- 影絵劇を見て思つたことは「気持ちのある劇、パフォーマンスは見て分かるんだなあ」と感じました。きっと何回も練習してきてくださったのだと思うので、こんな感動をくれてありがとうございます。〔中学2年生〕
- 芸術は形があるもの、ないものがあるが、心には残るものと感じた。〔中学3年生〕
- 劇も面白くて初めて見るものだけれど心に残りました。スクリーンにどう映っているか分からないと思うから本当に凄いいと思います。以前まで関心のなかつた影絵にとっても引き込まれました。また、劇団かかし座さんのショーを見たいです。〔中学3年生〕

<がん教育を行いました →中学1年生>

1 1月末から1 2月当初の期間で、中学1年生の2クラスにがん教育を行いました。これは毎年、中1を対象に保健室の荒井先生がプレゼンテーションを作成し実施している授業です。なぜ?がん細胞ができてしまうのか。どのような治療方法があるのか。予防としてできることは何か。など質問をしながら授業が進んでいきました。放射線治療やその副作用のことなど生徒達は、私の予想よりもがんについての知識をもっていると感じましたが、日本は、先進国と呼ばれる国の中では、がん検診を受ける人の割合が少ないことには驚いていました。「大切な人ががんになってしまつても言葉をかけたり不安を無くしてあげられるようになりたい。」・「がんのことを正しく知り、かかつてしまった人には、心の面で気をつかつたり、もし自分になつてしまつたら、周りの人と話そうと思いました。」などの感想が寄せられました。今回の授業で学んだことを将来の健康長寿に生かしてほしいと思います。



いざ!勝負 燃える 百人一首大会

1 1月27日(土)学園の恒例行事である百人一首大会が行われました。当日は、冬型の天候が強まり寒い日でしたが、8月から体育館に設置していただいたエアコンで暖房を入れたため、競技に集中することができました。子ども達は、この日まで優勝を目指し、寮の先生方の指導のもと、必死になって句の暗唱に頑張つて来ました。どの子も読み手の声に精神を集中し、真剣な眼差し(まなざし)で札を見つめていました。その姿に百人一首大会に本気で取り組んで来た努力の姿勢が現れていました。しーんと静まり返つた体育館に“はい!”という声が響くと張り詰めた心地よさを感じる事ができました。日本の伝統の一つである百人一首が、学園の大会を通して子ども達に受け継がれることはとても素晴らしいことです。子ども達の頑張りに拍手を送るとともに運営にご尽力された学園の先生方に感謝いたします。

